

箕面市立市民ギャラリー指定管理者候補者選定会議議事概要

1. 会議の開催状況

- (1) 開催日時：令和5年(2023年)7月12日(水)午後2時から4時
- (2) 開催場所：箕面市役所 別館5階会議室D
- (3) 出席者：遠近 高明 (人権文化部副部長)【会長】
村田 尚記 (総務部長)【副会長】
小山 郁夫 (地域創造部長)
九後 稔 (社会教育委員・箕面市美術協会会長)
金子 真也 (公認会計士・税理士)
- (4) 事務局：人権文化部文化国際室
- (5) 応募者：1. 株式会社Kサポート
2. (公財)箕面市国際交流協会

2. 議事概要

- (1) 当日スケジュール及び評価等について
事務局より下記のとおり説明を行った。

<当日スケジュール>

1. 応募者1によるプレゼンテーション(15分)
2. ヒアリング(15分)
3. 採点、
4. 応募者2によるプレゼンテーション(15分)
5. ヒアリング(15分)
6. 採点
7. 全体集計
8. 合議による選定

<採点方法>

応募書類及びプレゼンテーション、ヒアリングの内容を踏まえて以下のとおり採点する。

- ・提案金額に関する評価 A (定量評価) (100点)
- ・団体及び施設の管理運営に関する評価 B (定量評価) (100点)
- ・提案内容に関する評価 C (定性評価) (100点)

- (2) 応募者の提案内容プレゼンテーションについて

応募者である「株式会社Kサポート」および「(公財)箕面市国際交流協会」よりプレゼンテーション(提案内容の説明)が行われた。

(3) ヒアリングにおける質疑について

主な質疑については以下のとおり。

【株式会社Kサポート】

(質問) ギャラリーの料金設定は安いように思うが、どのように料金設定を行ったか。

(回答) 周辺施設の利用料金を面積比で計算して設定した。なお、提案した料金は市内の団体および市民を対象としており、市外の団体等については提案料金より高めに設定する予定である。

(質問) 文化サロン等のスポット利用とギャラリーの週単位での利用における棲み分けはどう考えているか。

(回答) ギャラリー仕様の場所とサロン用の場所を分け、その中で実施可能なコンテンツを用意する予定。ギャラリーを優先的に使えるよう運用面で調整も可能。

(質問) 収支計画では、人件費が多くかかっており、それが指定管理料に反映されているようだが、施設の収入増等で収支をプラスにするような運用は可能か。

(回答) 人件費が大半を占めてはいるが、カフェの人員がギャラリーの業務も担うといった人員の効率化を行うことで費用を抑えられると考えている。

(質問) 新駅開業後、カフェやギャラリーは多くの人目に入る。カフェやギャラリーに呼び込む仕掛けはあるか。

(回答) 人を呼び込む仕掛けとしては、自社の強みである物販や看板の設置、カフェではサンドウィッチやテイクアウトコーヒーの提供などを考えている。

(質問) ギャラリーの稼働率は低めだが、施設全体の稼働率を上げる策はあるか。

(回答) ギャラリーの稼働率が50%、それ以外で25%ほど積み上げ、80%ほどまであげていきたい。物販やイベントで稼働率のアップは可能と考えている。

(質問) オープニングイベントはどのようなものを考えているか。

(回答) カフェと箕面市の物産展を開催し、認知度アップを狙いたい。

(質問) 自動販売機の収益を見込んでいるが、箕面市では自動販売機は障害者事業所に設置及び運用を依頼している。それは問題ないか。

(回答) 問題ない。

(質問) 箕面市には公共施設予約システムがあるが、そのシステムで運用するのか。

また運用の際には箕面市民を優先するような配慮はあるか。

(回答) 基本的には箕面市のシステムを使いたい。その際には箕面市民への配慮も考えている。

(質問) 作家の育成支援を行うということだが、その方法は。

(回答) 主にギャラリーにて作品販売代行等で支援する。

【箕面市国際交流協会】

(質問) ギャラリーの利用時間について、月曜日や火曜日の人員配置や運用形態は。また、週をまたいでの利用は可能か。

(回答) 箕面市国際交流協会の休みと同様月曜日は人員配置しない予定。運用としては、火曜日を搬入の日とし、営業開始は水曜日からとする。週をまたいでの利用も可能。その場合は月曜日を休館日とし、その日の利用料は発生しない。

(質問) ギャラリー運営やオープニングイベントの参画者と箕面市について、外部のかたがを呼び込む場合、箕面市としての視点は忘れられないか。

(回答) 外部のかただけでなく、市の美術協会等の協力も欠かせないと考えている。

(質問) 新駅開業後、カフェやギャラリーは多くの人の目に入る。その中でカフェの営業時間が短い、今後の利用状況を見て営業時間変更等の融通はきくか。

(回答) 利用者のニーズや要望があれば、変更は可能。まずは小さく運営し、持続可能な事業とすることを考えている。

(質問) 物販をする予定とのことだが、地域貢献の観点から、障害者事業所で作成したものを売ることは可能か。

(回答) 問題ない。

(4) プレゼンテーション・ヒアリングを終えての評価点数

【応募者1：株式会社Kサポート】

評価点数 745点/1,500点 (構成員平均 149.0点/300点)

【応募者2：(公財)箕面市国際交流協会】

評価点数 1,276点/1,500点 (構成員平均 255.2点/300点)

(5) 選定会議としての結論

上記に基づき判断した結果、(公財)箕面市国際交流協会が箕面市立市民ギャラリー指定管理候補者として適任である。